

発行

株式会社 エスクリエイト

名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階

TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699

URL: <http://screate-soft.co.jp/>

担当: コンサルタント 石垣 智博

tomohiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

「ますます学ぶ姿勢が大事になる！」

またもや残念なニュースが、先月のエスクリエイト通信に引き続きというわけではないですが・・・。

◆エルピーダが・・・！

またまた、驚きのニュースが飛び込んできました。DRAM製造のエルピーダメモリが2月27日に会社更生手続き開始の申し立てを行ったとのこと。「エルピーダメモリは半導体メモリDRAM世界3位の会社。負債総額4480億円。数年前(2009年)に公的資金を使って業績不振に陥る企業を支援する仕組みに認定され資金注入されたばかり・・・」という情報もあわせて流れていました。(公的資金注入は、その当時の経済情報系のサイト・雑誌などで色々取り上げられていた記憶があります。)

DRAM市場はその値下がりや韓国企業との競争が激しく厳しい状況であったことを考えると、驚きではないかもしれません。

そもそも筆者が子供の頃(80年代)は、日本の半導体はお家芸的な存在でした。その当時No1だったアメリカ企業を蹂躪しました。日本は凄と思ったものです。市場環境は当時と違いますが、現在のDRAM市場の状況は、立場が入れ替わって、韓国企業に蹂躪された日本企業となってしまいました。

これ以上日本の牙城を崩されないように半導体ばかりではなく各分野の企業は頑張っていると思います。しかし、とても心配です。最近グッドニュースがないですから。

◆いまこそ学びたい

筆者の感性的なものですが、日本には「Japan as No.1(ジャパンアズナンバーワン)」が未だ残っているのではないだろうか？と思います。俺たちの技術・経営・運営・品質で勝るものはいない。このまま頑張り続けよう！！みたいで…。

ちなみに、「Japan as No.1」はハーバード大学のエズラ・F・ヴォーゲル先生によって記された書籍のタイトルです。(※その当時、日本がどのように成長してきたのかが記されているようです。日本に学ぼうといった趣旨だったとも言われています。(※注：筆者が読んでない本ですが紹介しました。今後読もうと思っています。現在の日本の有様がよくわかるかもしれません。)

今度は私たちが、世界を蹂躪している企業(その国の政策)に学ぶ時ではないでしょうか？書籍・ネット・経済誌などでは論じられていますが、それを会社レベル・個人レベルにまでおとして考える必要があると考えるようになってきました。(猿真似しろと言っているわけではありません。)かく言う私もまだまだ学べていませんし、個人レベルにおとして考えられていません。しかし、これからはこのような学びが必要だと感じます。(学んでみて「我々の方が良いやり方だ」となったらよいですね。)

今後さらに進展するグローバル化により、より多くの海外勢が日本市場に押し寄せてきます。グローバル化といえば海外へ出て戦うというイメージがあるかもしれませんが、日本市場もグローバルの台の上にあります。よって、海外勢が日本市場を狙ってくるのは当然です。グローバル化の意識がない国内企業でも否応なく海外勢と戦う状況となってしまいます。学びは、グローバル化に対応していく面でも必要となります。

孫子の兵法で、「彼を知り己を知れば、百戦して危うからず。彼を知らずして己を知れば一勝一負す。彼を知らず己を知らざれば戦う毎に必ず敗る。」とあります。(孫子-謀攻篇)

ビジネスでの「彼」とは外部環境であり、お客様、競合他社、市場環境などがそれに該当します。「己」とは内部環境であり、自社の経営資源(ヒト、モノ、カネ、情報、情熱)、組織風土、組織体制、業務運営などがそれに該当します。

「『己』を知り『彼』を知れば、百戦・・・」ではなく、なぜ「彼」が先なのでしょう？ それは「まず、『彼』を知ることが必要、そして『彼』に対して『己』がどのように対応するのか考えましょう」と孫子は言っているとだと考えられます。「彼」に対して自社の強みをどのように対抗していくのか？ どのように駆逐していくのか？ どのように買っただけなのか？ 参考になるものは無いのか？ 協力し合えることは無いのか？ などを考えるためにです。

(孫子のくだりはエスクリエイト通信 2011 年 4 月号にも掲載しています。)

エルピーダの件は最後の気づきになるかもしれません。日々忙しく過ごされているとは思いますが、学びの優先順位を上げてはいかがでしょうか。

「本は考える為のサプリメント」(その 11)

「本は考える為のサプリメント」です。考える為の知識を本から学び、日々のビジネス活動で活かそうという企画です。

今月ご紹介する本は、ちょっと癖があり好き嫌いが分かれる新書だと思いました。面白くなくてもご容赦ください。

「情報の呼吸法」(津田 大介)

まず目に付くのは真っ青な本。表紙も中身もすべて薄青色でとういつされています。書店に行ったら思わず手に取ってしまいました。

「はじめに」によれば、情報を行動に移すということを主眼に記したとあります。

著者の経験・やりたいことがつらつらと記されているのを感じますが、情報をうまく取り扱っていない、情報の取扱いの仕方を知らない、ツイッター・facebook などソーシャルメディアの活用がわからない方には、情報との接し方の参考にはもってこいだと思います。筆者(私)は所々に今後の行動のヒントになることがあり、有益でした。(例：タイムランの使い方。継続できることをタグにする。発信の軸。など)

行動が起こせるかは読者次第だと思いますが、興味がわきワクワクできれば良いのではないのでしょうか？ 書店で手に取ってみることをお勧めします。

ソフトブレン&エスクリエイト 共催セミナー開催のお知らせ。

先月に引き続きご案内致します。

今月の 8 日にセミナーを開催いたします。

テーマは『不幸な結果から学ぶ、HAPPY な IT の導入』

「IT を導入しても効果が出ない」

「IT を導入したのに運用コストが多くなった気がする」

「IT を導入したが使わない・使えない」

などなど、不幸な結果をもたらす IT の導入が、まだまだ見受けられます。

その原因は何なのか？ どのように IT 導入すれば“HAPPY”になれるのか？ 本セミナー第一部では、不幸な結果をもたらした IT 導入について、事例を基に不幸となった原因分析を行います。

そして、IT 導入で“HAPPY”になるための方法についてご紹介致します。

引き続き第二部では、第一部での『“HAPPY”になる IT 導入』方法を活用した営業業務改革ソリューションについてご紹介致します。

是非ご参加頂き、業務改革・IT 導入・営業改革のヒントをお持ち帰りください。

記

日時：3月8日(木) 14:00~16:00 受付開始 13:30

場所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

1005会議室

定員：30名限定

費用：無料

詳細は弊社ホームページ (<http://screate-soft.co.jp/>)、又は下記より願います。

お申し込みは今すぐアクセス **ソフトブレンセミナー** **検索**

編集後記

段々春が近づき、暖かい日も増え過ぎやすくなってきています。春が待ち遠しい気分です。しかし、「もうすぐ春ですね〜♪」なんて上々な気分になれません。なぜなら花粉症だからです。今年は花粉の飛散量が昨年に比べて少ないと言われています。しかし、ツボにはまると大変で、ちょうど今(執筆中)苦しんでいます。今年もしっかり対策しないとだめですね。

三寒四温で体調管理が難しい時候であります。ご自愛ください。(石)

